

門司管理局の

説明及此の際ワクチン注射を一
般施行の方法等に付載附近全

胃病

妖雲影を潛めて

八幡無風狀態

依然嚴重なる警備中に數百

のケーブルカー尙動かず

小康狀態

に達した。

八昼夜に開かれた友愛會、勞友會、協同の報告演説會も當局の干渉其効果を察してか豫想は全く裏切られ入場者も極めて少く寂寥の傾向分に包まれて極めて無事平穏に散會した。外來巡査並に要長は引継き市内を戒厳しつゝあつたが九日朝に到つて

職工側の警備は次第に軟化し同日午前六時交代時には妥協全く成立して終了した。之と前後して八日深更在住者には全部全く入場して作業に從事した。京中なりし白山長官は八幡に歸着し七月より弓削き會議中であつた京部會に臨み國々の後守護拂ひ以来之に盡瘁したる有力者を慰訪して一々謝辞を述べ直に製鐵所に歸りて今後の運営に就て頗りに協議を重ねつゝある。此處に於て

調査中

白仁長官の今後の處置如何に依ては或は再び動搖を來すかも解らないと觀測され行はれてゐない。斯の如くして到るも猶運轉の運びを見るに至らず、場内の輕便鐵道も唯一部分が

因に製鐵所側の報告に依れば三日

間の間であると稱せられてゐる

(九日八幡特電)

溶鐵爐の

作業に從事

したる三千名の職工に九日朝復職したる一千二百名を加ふる時は一万五千名の職工が現在夫々業に就いてゐる譯である。斯くて全く影を潜めた形であるが、事態は未だ必ずしも鎮靜に歸したと言ふ事は出來ない。現に數百を算へられたあるケーブルカーは今こ